

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	教育センター所長 相田 良一
教育-38 調査研究研修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		主管課 教育センター 関連課
	総合計画上の位置付け	分野 学校教育	施策の方針 教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の教職員
意図	教育の今日的課題の解決に向けての研究・研修を進め、教育活動の支援を行うため。
効果	教職員の資質の向上を図り、今日的課題の解決能力を高める。

2 平成26年度に実施した事業の概要

教員並びに幼稚園・保育園の教員で研究会を組織し、教育現場の諸課題についての研究を行うとともに、幼児教育との連携を図った。教育現場の諸課題に対応し、その解決を図るための研修会を実施した。校内研修に講師を派遣し、授業・研修を行い学校の諸課題の解決を支援した。教育指導員を学校に派遣し、教職員への指導・助言を行い、その資質・指導力の向上を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	4,760	決算値(千円)	3,460	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	4,760	一般財源	3,460	
事業経費運営	人員配置数	3.0	人員配置数	3.0	
	人件費(千円)	23,426	人件費(千円)	22,726	
	総事業費(千円)	28,186	総事業費(千円)	26,186	
事業経費運営	市民1人当りの経費(円)	159	市民1人当りの経費(円)	148	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	各学校における喫緊の課題については、多様化・複雑化する傾向があり、その課題解決のための研修・研究の充実が必要である。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	各学校のニーズに応じた研修を、各学校を会場に実施し、その課題解決のための校内研修の充実を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	実施した研修内容および研究事成果と各学校、市内教職員への還元、活用の充実。	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人。民間企業公共支援事業等。

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	研修内容の充実を図るための講師を招聘するにあたって、1回あたりの講師料の増額の希望が出ている。  事業へ統合
	予算規模の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	研修会実施に当たり、講師料の基準の増額の希望があるため。		
総評	各学校の課題や鎌倉市の教育における課題解決のための、研修・研究事業の質の向上を図り、各学校の学校力の向上を図るために、本事業の充実・推進を図る。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	各学校の課題解決のための研修内容の満足度						単位		指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
各学校における課題解決のための研修内容の質を高めていけるようにする。	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%				
	実績値	80%									
	達成率	80.0%									
指標の内容	各学校の課題解決のための研究推進の満足度						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
各学校における課題解決のための研究の充実と質を高めていけるようにする。	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%				
	実績値	50%									
	達成率	50.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	研修・研究の充実に関する数値的な指標設定は難しく、各学校からのニーズを把握しながら学校の満足度を、センターとしての自己評価から推測して確認して行く。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---